

## 環境

問 広域ごみ処理施設建設について、土地が決定してから環境アセスメントに入つた方が良いと考えるが。



△ 稼働中の松山清掃工場

答 環境アセスメントは、処理方式が決定してから行う予定であると聞いています。3市のごみ処理広域化事業は平成33年度の供用開始を目指しており、建設

終協定ということで捉えていただき、この最終協定の同意をいただいてから用地の取得を行う予定だと聞いており、環境アセスメントは、地域住民が心配する騒

計画のスケジュールでは、3年半かかる見込みであり、その間に用地測量、地質調査を実施し、その結果をもとに、地元町内に対して環境保全対策等を含めた施設の計画内容などを示して最終的な施設建設に同意、最

音・大気・水質・渋滞などの環境がどうなるのか、どのような対策を講じるのかを示すものであり、明らかに不公平だと判断するが。

答 現行は、均等割20%、人口割40%

%、処理量割40%

%と平成19年度に条例で制定されており、この負担割合については、問題があるという認識の上で、首長会議などの席で再三申し入れているところです。なお、平成25年1月7日に、東総地区広域市町村圏事務組合管理

者に対しごみ処理

広域化推進事業に

関する要望書を提出して、負担金の見直しについて協議されるよう要請したところ、担当課長会議で検討・協議していくとの回答をいただいています。

問 3R推進の一般廃棄物処理方針から考える効率的ごみ処理事業の考え方は。

答 市では、循環型社会形成推進基本法による3Rの取り組みを推進しており、可能な限りごみを出さない循環型まちづくりに努めています。ごみの発生抑制及び再利用は、市民及び事業所の主体的な協力が不可欠であることから、積極的なマイバッックの持参、生ごみ処理機設置補助事業等を推進し、広報そきや市ホーミングページ等を活用しながら、効果的に市民や事業者に対して周知を図っていきたいと思っており、再生利用を促進するために家庭系ごみは、集団回収の実施を引き続き推進していきます。

問 東総地区広域市町村圏事務組合で進めているごみ焼却場の機種選定の現在の状況は。

答 人口推計は、平成22年の国勢調査を基礎に推計すると広域ごみ処理施設が稼働開始する予定の平成33年の人口は3万3、843人となり、高齢化率は、

答 地域の特性から漂流ごみや流木など特殊なごみや、水は、塩分を多く含むごみの

答 3R推進の一一般廃棄物処理方針から考える効率的ごみ処理事業の考え方は。

答 人口推計は、平成22年の国勢調査を基礎に推計すると広域ごみ処理施設が稼働開始する予定の平成33年の人口は3万3、843人となり、高齢化率は、

## 交通

### 一般質問の質問項目

対答 進一 議員

市長の政治方針について

● 市立病院の運営について

● ごみ処理の広域化計画について

● 預算確保について

● 学校施設整備について

● 武田 光由 議員

● 津波対策について

● 地震対策について

● 豪雨対策について

● 定住促進策について

● 転入促進策について

● 川口 健男 議員

● デマンド交通システムについて

● 再雇用制度について

● 地場企業支援対策について

● 日色 昭浩 議員

● 新学校給食センターの運営について

● 田村 明美 議員

● 旧飯高保育所施設活用について

● 林 明敏 議員

● 一般廃棄物処理施設の建設整備について

答 金額の確定した平成24年度の費用の比較では、循環バスが8、612万円、デマンド交通システムと循環バスの費用とその効果は。

答 間接的な費用には、運行時間、運航日で市内全域を12台のセダンで補

と試算しています。

答 また、市内循環バスは、

高齢者や学生などの交通弱

者に乗車する機会を平等に

与え、市内中心部と地域を

結ぶ公共交通機関と考えて

おり、デマンド交通は、高

齢者などの登録者に対して、

身体的に優しいサービスで

あると認識しています。

答 デマンド交通システムと循環バスの費用とその効

果は。

答 金額の確定した平成24年度の費用の比較では、

循環バスが8、612万

円、デマンド交通システムと同

では、現在の循環バスと同

じ運行時間、運航日で市内

全域を12台のセダンで補

と試算しています。

答 また、市内循環バスは、

高齢者や学生などの交通弱

者に乗車する機会を平等に

与え、市内中心部と地域を

結ぶ公共交通機関と考えて

おり、デマンド交通は、高

齢者などの登録者に対して、

身体的に優しいサービスで

あると認識しています。

答 デマンド交通システムと循環バスの費用とその効

果は。

答 金額の確定した平成24年度の費用の比較では、

循環バスが8、612万

円、デマンド交通システムと同

では、現在の循環バスと同

じ運行時間、運航日で市内

全域を12台のセダンで補

と試算しています。

答 また、市内循環バスは、

高齢者や学生などの交通弱

者に乗車する機会を平等に

与え、市内中心部と地域を

結ぶ公共交通機関と考えて

おり、デマンド交通は、高

齢者などの登録者に対して、

身体的に優しいサービスで

あると認識しています。

答 デマンド交通システムと循環バスの費用とその効

果は。

答 金額の確定した平成24年度の費用の比較では、

循環バスが8、612万

円、デマンド交通システムと同

では、現在の循環バスと同

じ運行時間、運航日で市内

全域を12台のセダンで補

と試算しています。

答 また、市内循環バスは、

高齢者や学生などの交通弱

者に乗車する機会を平等に

与え、市内中心部と地域を

結ぶ公共交通機関と考えて

おり、デマンド交通は、高

齢者などの登録者に対して、

身体的に優しいサービスで

あると認識しています。

答 デマンド交通システムと循環バスの費用とその効

果は。

答 金額の確定した平成24年度の費用の比較では、

循環バスが8、612万

円、デマンド交通システムと同

では、現在の循環バスと同

じ運行時間、運航日で市内

全域を12台のセダンで補

と試算しています。

答 また、市内循環バスは、

高齢者や学生などの交通弱

者に乗車する機会を平等に

与え、市内中心部と地域を

結ぶ公共交通機関と考えて

おり、デマンド交通は、高

齢者などの登録者に対して、

身体的に優しいサービスで

あると認識しています。

答 デマンド交通システムと循環バスの費用とその効

果は。

答 金額の確定した平成24年度の費用の比較では、

循環バスが8、612万

円、デマンド交通システムと同

では、現在の循環バスと同

じ運行時間、運航日で市内

全域を12台のセダンで補

と試算しています。

答 また、市内循環バスは、

高齢者や学生などの交通弱

者に乗車する機会を平等に

与え、市内中心部と地域を

結ぶ公共交通機関と考えて

おり、デマンド交通は、高

齢者などの登録者に対して、

身体的に優しいサービスで

あると認識しています。

答 デマンド交通システムと循環バスの費用とその効

果は。

答 金額の確定した平成24年度の費用の比較では、

循環バスが8、612万

円、デマンド交通システムと同

では、現在の循環バスと同

じ運行時間、運航日で市内

全域を12台のセダンで補

と試算しています。

答 また、市内循環バスは、

高齢者や学生などの交通弱